

大隅地域感染症情報

2019年第10週報（3月4日～3月10日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

- ・インフルエンザについて、鹿屋保健所、志布志保健所共に減少傾向です。
- ・A群溶血性連鎖球菌について、鹿屋保健所、志布志保健所共に先週に比べて増加しています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			7週	8週	9週	10週	7週	8週	9週	10週	10週	9週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	19.75	10.63	8.50	6.63	12.20	10.20	4.40	3.60	5.46	4.55
RSウイルス感染症	-	-	0.60	0.40	0.60	0.20	0.00	0.00	1.00	0.67	0.38	0.80
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.60	1.40	1.60	1.80	0.00	0.00	1.00	0.00	1.13	1.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.00	2.00	1.00	3.80	2.33	1.67	1.67	2.67	3.38	3.06
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	12.20	12.00	8.60	10.00	4.67	3.67	3.33	4.00	7.75	7.52
水痘	2.00/1.00	1.00	2.20	0.40	0.60	0.00	1.67	1.00	0.67	0.67	0.25	0.37
手足口病	5.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.33	1.00	0.50	0.19
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.09
突発性発疹	-	-	0.40	0.40	0.40	0.20	0.00	0.67	0.33	0.00	0.13	0.39
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.67	0.67	0.25	0.11
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	3.00	1.00	1.00	3.00						1.86
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	-	

警報基準値以上

注意報基準値以上

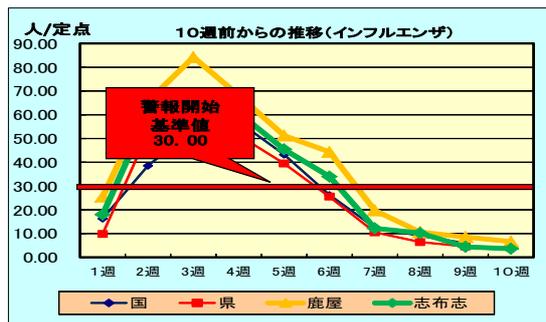
○インフルエンザについて

【 警報開始基準値 30.0, 警報終息基準値 10.0, 注意報基準値 10.0 】

インフルエンザの発生状況は、
鹿屋保健所管内からは53名（定点当たり報告 6.63）
の報告がありました。

志布志保健所管内からは18名（定点当たり報告 3.60）
の報告がありました。

年齢別では、10～14歳が最多でした。



※第10週は鹿屋・志布志のみ掲載

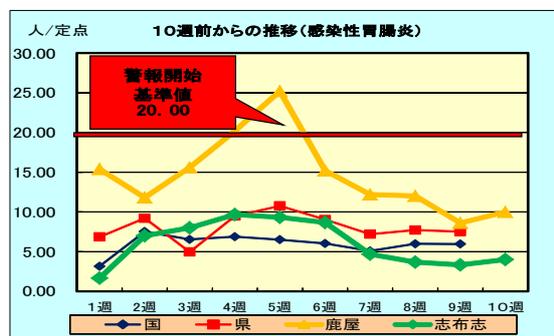
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは50名（定点当たり報告 10.00）
の報告がありました。

志布志保健所管内からは12名（定点当たり報告数
4.00）の報告がありました。

年齢別では、10～14歳が最多でした。



※第10週は鹿屋・志布志のみ掲載

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防について

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？】

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A 群溶血性レンサ球菌という細菌による感染症で、どの年齢層でも起こりますが、特に学童期の小児に多い病気です。

例年、冬季及び春から初夏にかけての2回、報告数のピークがあります。

また、人と人の接触機会が多いときに起こりやすいため、家庭、学校などの集団では特に注意が必要です。

【症状】

2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛で始まり、しばしばおう吐を伴います。

合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを起こすこともあります。

【感染経路】

患者のせきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します（飛沫感染）。

また、排出された細菌が手や食べ物などを介し口に入ることによっても感染します（経口感染）。

【予防方法】

手洗いやうがいを励行する。

感染者との密接な接触を避ける。

